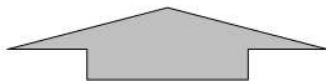


事務事業名 筑紫野市学校給食会助成事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1272

施策：	18	学校教育の充実	財務コード	01090401-05-515
基本事業：	05	健やかな体の育成	担当部	教育部
基本事業の成果指標	運動意欲の向上がみられる児童の割合 運動意欲の向上がみられる生徒の割合 健康に関する基本的な生活習慣が身につけている児童の割合 健康に関する基本的な生活習慣が身につけている生徒の割合		担当課	学校給食課
			担当係	共同調理場担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
筑紫野市学校給食会			<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食会は、学校給食に関する事業や給食費・物資などについて検討、承認を行う。構成は、理事会（教育長、小中学校長会代表2名、小中学校PTA役員代表2名、市小中教頭会代表1名、市教育委員会指導主事1名、給食主任1名、監事2名、学校給食課課長、栄養教諭）12名、評議員会（小中学校長、小中PTA役員代表）26名の委員で構成されている。</li> <li>主な事業として、食育に関する事業。当番校による給食指導実践報告、食育だよりの発行（月1回）、地場産物紹介DVD作成、野菜料理の達人（夏季休業期間中、小学生が家庭で野菜料理作りに挑戦し、達成レベルに応じてカードを発行）、調理員料理コンクールの開催。年1回、カミリーヤにて開催。表彰作品は、福岡県学校給食会主催のコンクールに出品。</li> <li>親子調理場見学会の開催。年1回、共同調理場にて小学5,6年生（20組程度）を対象に開催。</li> </ul>			
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>市学校給食会に助成金を交付することで、学校給食会の運営が円滑に行われる。</li> <li>共同調理場見学会や料理コンクールを実施することにより、食育を推進する機会とする。</li> </ul>						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
親子調理場見学会参加者数	人	0	44	40	40			180
親子調理場見学会後のアンケート満足度	%	0	100	100	100			100

5. コスト								
事業費	計	千円	107	107	107	107		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	107	107	107	107			
正職員人工数	人工		0.2	0.2	0.2			
正職員人件費	千円		1,584	1,546	1,563			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		1,691	1,653	1,670	107		

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	今年度より親子料理教室は健康推進課単独で実施することとなった。学校給食課では今年度、夏休みに親子調理場見学会を開催した。小学5,6年生とその保護者を対象に20組程度の募集を行い、22組の応募・参加がありました。普段入ることのできない調理場内で給食ができるまでの説明を行い、大型厨房機器を触ってもらうことで給食への関心を高めることができた。また、調理員の料理コンクールについては、県及び市のコンクールに向けて献立の検討、試作、コンクールでの調理、審査により、調理員の技術向上、献立研究意欲の向上に繋がった。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）					

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食は、学校・家庭との連携が重要であることから、学校等との連携を密にし、学校給食の円滑な運営と食育の推進を図るための調査・研究の場として筑紫野市学校給食会を支援している。</li> </ul>	令和4年度評価から指標を「親子調理場見学会参加者数」、「親子調理場見学会後のアンケートの満足度」に変更